



心晴れ晴れ

晴田小学校だより 第23号

令和7年11月21日

文責 校長 高山 健

【学校教育目標】 心晴れ晴れ たくましく 学び伸びゆく 晴田っ子の育成

☆「みんなでゴール」「なかよしすごろくをしよう」～公開授業～☆



11月18日(火)は、1年生の 学級、2年生の 学級で公開授業を行いました。佐賀市、小城市、多久市などから約30名の参加者があり、それぞれの授業を参観していただいた後、授業の内容や方法、具体的な手立て等についての研究協議を行いました。

子どもたちは、動きのある活動を存分に楽しんでいました。そして、自然に拍手をしたり、労いや感謝の言葉を掛け合ったりする雰囲気が見られるようになっていきました。その様子を見た参観者からは、『周りを見て適切に行動したり、進んで気持ちを伝えたりすることができる』『ルールを守って活動に参加し、友達と楽しさを共有しながら自分の気持ちを調整したり、相手に配慮してコミュニケーションを行ったりすることができる』といったねらいに迫る授業展開に多くの称賛の言葉が贈られました。

学んだことを確かなものにするためには、繰り返すことや振り返ることが重要です。そんなプロセスを経て、ますます成長していく子どもたち、職員の姿が楽しみです。

☆ 相手の気持ちを考えたコミュニケーション ～情報モラル～ ☆

Let's 家族会議!!

情報化社会を生きて子ども達が、加害者や被害者にならないよう
子どもの未来を守るための安全なネットの利用について
家族で話し合いルールを作りましょう。

★ルール作りのポイント★

- ①使用場所・利用時間について
- ②LINEやSNSに書く内容について
- ③アプリのダウンロードや使用について(料金なども含む)
- ④定期的な保護者の管理について
- ⑤困った時の対処法

このように内容について話し合い、ルールを決めていきましょう。

★安全に利用のために保護者ができること★

- ①フィルタリングの設定
- ②各種保護機能(「ペアレンタルコントロール」)の活用
- ③「利用時間の制限」「購入やアプリのダウンロード制限」などが設定できる
- ④画面ロックなどのパスワードの管理は保護者が行う
- ⑤定期的な利用状況の確認と、年齢に見合った設定の見直し

貸出し機器(保護者のスマホやタブレット)、おみやげ物、ゲーム機も
身の安全対策を忘れずにいましょう。

親子と意見

スマホやゲーム機等の使用は〇時まで(〇時間以内でいい)

- ・LINE、X(旧ツイッター)やインスタなどへの投稿はしない。
- ・知らない人と話さない。
- ・友達と遊ぶ。スマホ、タブレットを机の上に置く。
- ・食事や、歩きながら、自転車に乗りながらの利用はしない。
- ・定期的に利用状況を報告する(言葉・パスワードの管理は親が行う)

守らなかったときは

- ・ルールを守らなかった場合は、何がなかったのか話し合う。
- ・それでも守らなかった場合は利用を中止する。
- など、家族で話し合います。

子どもの成長段階に応じてルールを定めます。

また、個人所有の製品や年費・月額の支払を要する機器は親が管理
する必要があります。子ども達の安全を守るため、管理セラルに際する
学びと安全を確保するように考えよう。

人を大切に ものを大切に そして時間を大切に

家族みんなで話し合い、「わが家のスマホルール」を作製し、見えるところに貼ろう!!

小城市青少年育成市民会議 小城市生涯学習課内 0952-72-1616

相手の気持ちを考えて、コミュニケーションを取ろう

友達とのやり取りで

- 自分はふざけているつもりでも、友達は嫌な気持ちになっているかもしれないよ。言葉やスタンプの使い方には気を付けよう。
- 勝手に他の人を撮影したり、その写真を公表したりすると、肖像権という権利を侵害することになるよ。
- 夜遅い時間にメッセージを送ると、相手は寝ていることもあるよ。何時までなら連絡してもいいか考えてみよう。

SNS は私たちの生活を豊かにする一方で、様々な危険性も伴います。利用する際は、リスクを理解し、適切な対策を講じることが重要です。情報リテラシーを高め、怪しいと感じた場合は専門機関に相談するなど、慎重に行動することが求められます。しかしながら、SNS 等に係る加害、被害の報道は後を絶ちません。

将来を担う宝である子どもたちには、加害者にも被害者にもなってほしくないという願いは誰もが同じはずです。小城市青少年育成市民会議では、『人を大切に ものを大切に そして時間を大切に』をキャッチフレーズに、わが家のスマホルール作成を呼びかけています。ご家庭のルールはいかがでしょうか。

上右図は文科省の情報モラル学習サイトより引用したのですが、お子様のやりとりと同じような状況は見られないでしょうか。②③④につきましては、子どもたちに正しく理解させる必要がありますので、学校では発達の段階に応じた指導を積み重ねていきます。ご家庭でも子どもたちの見守りと必要に応じた指導をお願いいたします。